

第42回吉岡彌生記念講演会 (第374回東京女子医科大学学会例会)

日 時 2026年5月22日(金) 13:45~16:00
会 場 東京女子医科大学 弥生記念講堂 [定員70名]
吉岡彌生先生の略年譜 <https://www.twmu.ac.jp/univ/about/history.php>

司会 (幹事) 中村真一
挨拶 (東京女子医科大学学会 会長) 三谷昌平

令和8年度研究奨励賞授与式 13:50~13:55

選考経過報告と授与 (東京女子医科大学 学長) 三谷昌平

吉岡彌生研究奨励賞

伊藤亜由美 (消化器内科学分野 助教、平成15年卒)

潰瘍性大腸炎に対する治療について

石山みどり (血液内科学分野 准講師、平成9年卒)

免疫性血小板減少症における細胞障害性T細胞の病態解明:

より有用な副腎皮質ステロイド薬の選択についての検討

吉岡博人記念総合医学研究奨励賞

研究代表: 梶健二郎 (薬理学分野 助教)

共同研究者: 小針悠希 (泌尿器科学分野 臨床講師)・関 敦子 (病理診断学分野 助教)

自然発症イヌ腫瘍を活用したヒト泌尿器系癌の分子特徴対比と治療標的探索

研究奨励賞受賞者研究発表 13:55~14:10

座長 (幹事) 秋澤叔香

令和5年度吉岡博人記念総合医学研究奨励賞

研究代表: 貝淵信之 (顎口腔外科学分野 講師)

共同研究者: 松峯 元 (形成外科学分野 准教授)・高木 亮 (先端生命医科学研究所 助教)

間葉系幹細胞シートによる薬剤性顎骨壊死の治療

第42回吉岡彌生記念講演 14:30~16:00

座長 (東京女子医科大学学会 会長) 三谷昌平

清水 治 (学校法人東京女子医科大学 理事長)

ご挨拶

大澤真木子先生 (立教女学院理事長、東京女子医科大学名誉教授、昭和47年卒)

吉岡彌生先生の精神から学ぶ

田中ひかる先生 (歴史社会学者、作家)

初期女性医師たちの奮闘--吉岡彌生と高橋瑞

〔令和5年度吉岡博人記念総合医学研究奨励賞受賞グループ研究発表〕

間葉系幹細胞シートによる薬剤性顎骨壊死の治療

(¹顎口腔外科学分野, ²形成外科学分野, ³先端生命医科学研究所) 貝淵信之¹・松峯 元²・高木 亮³

ビスホスホネートやデノスマブなどの骨吸収抑制薬に関連して発症する顎骨壊死 (medication-related osteonecrosis of the jaw : MRONJ) は難治性であり、临床上重大な問題となっている。現在、保存的治療では多くの症例で治療が困難であることから顎骨切除を伴う外科的治療が推奨されているが、摂食・嚥下・発声障害や顔面変形を生じる可能性があり、患者の生活の質 (QOL) の低下を招くことがある。そのため、外科的切除に代わる新規治療法の開発が求められている。

我々は、間葉系幹細胞 (mesenchymal stem cells : MSCs) の創傷治療促進作用、血管新生促進作用、抗アポトーシス作用、骨代謝促進作用および免疫調整能に着目し、MSCs を用いた細胞シート (MSC シート) による MRONJ 治療の可能性について 2013 年より検討してきた。これまでに骨髄および脂肪組織由来 MSC シートをラットおよびビーグル犬 MRONJ モデルに移植し、有意な治療効果を確認している。

さらに、歯周組織再生医療の治療のためにヒト歯根膜由来 MSCs (PDLMSCs) の細胞バンクを構築しており、その臨床応用を見据え、ビーグル犬由来歯根膜 MSCs から作製した PDLMSC シートをビーグル犬 MRONJ モデルに移植した。その結果、他組織由来 MSC シートと同様に治療効果が確認された。以上より、PDLMSC 細胞バンクを用いた PDLMSC シート移植による MRONJ に対する新規治療法の臨床研究を実施する予定である。